

令和4年定例12月会議一般質問

質問者	質問事項及び要旨	質問の相手
松屋治郎	<p>1期目の自己評価と2期目の出馬理由について</p> <p>来年4月に行われる統一地方選挙に2期目を目指し、立候補を表明した西村町長に、1期目の自己評価と2期目の出馬理由について伺う。</p> <p>1期目の町長就任の挨拶で町民憲章をふまえた町政運営について</p> <p>「町民あつての小値賀町」「町民主役の小値賀町」を柱として、これ迄以上に、情報を公開し、公平・公正な町政運営に努め「夢のある小値賀町」の実現に一生懸命頑張つて参ります。と述べている。</p> <p>施策については医師の2名体制、地場産業の振興対策、松枯れ対策、牛のセリ市場対策、情報公開については必ず実行します。と述べている。</p> <p>2期目の出馬理由として</p> <p>教育の充実、子育て支援、産業振興、医療体制の充実、人口減少対策、デジタル社会を目指して環境整備を進めたいとしている。</p> <p>以上の事から以下4点につき町長に伺う。</p> <p>①町政運営の理念とした「町民あつての小値賀町」「町民主役の小値賀町」これ迄以上に情報を公開し、公平、公正な町政運営を行う事について、主役である町民の声を良く聴き、又、情報の公開について適切に行ったか。</p> <p>②夢のある小値賀町の実現について、町長の思い描く夢のある小値賀町とはどんなものか、又、どの様にしてその夢の実現を図って行くのか伺う。</p> <p>③1期目の施策について、1期目は前任者の継続事業を含</p>	町長

	<p>め、医師の2名体制、地場産業の振興対策、松枯れ対策、牛のセリ市場対策、情報公開については必ず実行します。と述べていることについて自己評価はどうか伺う。</p> <p>④2期目の出馬理由について 教育の充実、子育て支援、産業振興、医療体制の充実、人口減少対策、デジタル社会を目指しての環境整備等をあげているが、各施策のポイント及び現状の小値賀町にとっての優先課題又その優先順位はどうか伺う。</p>	
<p>今田光弘</p>	<p>将来を見据えた離島開発総合センターのあり方(長寿命化を目指すか、建て替えるか、解体撤去するか)について</p> <p>町の計画によると、築30年以上経過する町内の公共施設の維持管理・更新には、長寿命化対策を講じても今後10年間で約64億円かかるという。</p> <p>離島開発総合センター(築48年経過)は法定耐用年数を超え、壁のひび割れや鉄筋の爆裂など老朽化がかなり進んでおり、大規模な改修を行って長寿命化を目指すか、建て替えるか、解体撤去するかの判断を早急に行う必要がある。</p> <p>センターの利用度は高いものの、機能的には役場庁舎内の会議室や尼忠東店、総合体育館や小中学校の体育館等で代用でき、公民館と教育委員会の事務局は現在その利活用が検討されている「旧小西邸」に移すことも可能だ。</p> <p>センターがなくなると確かに不便を感じることはあると思うが、代用できる施設がある以上、残さなければならないという積極的な理由はなく、あと30年使用(80年間使用が目標)するためにばく大な経費をかけて大規模改修する必要はない。</p> <p>長く慣れ親しんできたものを手放すには勇気が必要だが、早い時期に解体除却して後世に負の財産を残さないようにすべきではないか。</p>	<p>町長</p>

	<p>西目処分場の廃材の処理について</p> <p>西目の処分場に建物の解体材が山積みになっており、ここ数年増える一方にある。</p> <p>この廃材はリサイクルに向けた分別がされないまま持ち込まれており、しかも防腐剤やタールが含まれているものが多く、再利用は難しい。</p> <p>そのため、重機で廃材を細かく砕いてトラックに積み焼却場で焼却する方法をとっているが、作業はあまりはかどっていないようだ。</p> <p>はかどらないことで建物の解体が先送りされ、老朽化した建物の危険度がますます高くなるという悪循環を生みだしており、環境的にも景観的にも早急な対策を講じる必要がある。</p> <p>①作業時間の確保と作業員のモチベーションを維持するための対策は。</p> <p>②今よりパワーのある重機を導入して作業効率を高めるはどうか。</p> <p>③廃材を燃やすと炉が高温になってしまうことへの対策は。</p> <p>④焼却炉が使用できなくなった時は新上五島に搬出するのか。</p> <p>⑤短期間に集中して廃材すべてを島外に搬出して焼却処分する事業はできないか。</p> <p>⑥廃材処理後の、リサイクルを視野に入れた解体材の受け入れ方法の検討も必要ではないか。</p>	町 長
末 永 一 朗	<p>水産加工施設の存続について</p> <p>水産加工施設は未利用・低利用の魚を利用して、漁業者の所得向上と、雇用の創出につなげる計画で造られたと思う。しかし、現状は、十分に活用されていないと思われる。</p> <p>現在は、あわび館で働いている人が、予約が入った時のみ、対応している。施設の在り方を速やかに検討しないと、ただの建物になりかねない。</p> <p>又、今年度をもって、漁村支援交付金の支援は終わるが、</p>	町 長

	<p>町の計画では、自立運用ができるようにしている。今後、町としてはどんな支援をしていくのか。担い手 公社ばかりでなく、町全体で取り組む考えはないか以下の 3点について伺う。</p> <p>①従業員の確保はどのように進めるのか。 ②民間にこの事業を委託する考えはないか。 ③又、事業の内容の転換を見据えて、未利用・低利用の魚 を活用した試食コーナーを設置する事は出来ないか。</p>	
--	---	--